



Welウェルなかがわ

WellはWelfare(ウェルフェア)=幸福、福祉という意味の英語からとりました。

編集・発行 社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

第34号

発行/2008.12

「8月末集中豪雨」

災害ボランティア活動報告



8/30(土) 午前
床上浸水した被災者宅での災害ボランティア活動

活動期間 平成20年8月30日～9月23日

活動件数 56件 延ボランティア数 103人

中川区内で大きな被害が出たため、中川区社会福祉協議会では災害ボランティアやNPO法人の方と協力して、被害が多かった地域を重点的に被災者の支援活動を行いました。



「大変な目に遭われた方たちのお役に立つことが少しでもあれば」と思い、「何か些細なことでもお困りのことがあればお手伝いします。」と声を掛けながら地域を歩いて回りました。



床上浸水の被害があったお宅では、畳や家具などが水に浸かって使えなくなってしまったので、畳上げや災害ゴミの運搬、家の中の掃除・整理などの活動を行いました。



しかし、やはり知らない人が家に入ることへの抵抗があるのが、支援が必要と思われる方でも遠慮される方が多く見受けられ、「災害ボランティア」について広く知っていただく必要があると感じました。

今号の内容

- 災害ボランティア活動報告・・・・・・・・・・・・・1
- 災害ボランティアグループのご紹介・・・・・・・・・・・・・2
- 第2次地域福祉活動計画ニュース・・・・・・・・・・・・・3
- 地域包括支援センターからのお知らせ・・・・・・・・・・・・・4
- 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール・・・・・・・・・・・・・5
- 歳末たすけあい運動にご協力を・・・・・・・・・・・・・5
- 寝具洗濯乾燥サービスのご案内・・・・・・・・・・・・・6
- 視覚障がい者支援ボランティア養成講座受講者募集・・・・6
- 寄付のお礼・・・・・・・・・・・・・6

お見舞い

8月28日夜から29日朝にかけての集中豪雨により、中川区においては多大な被害を受けました。災害に遭われたみなさまには、心よりお見舞い申し上げます。

中川区社会福祉協議会会長
鈴木 裕

災害ボランティアグループのご紹介

名古屋なかがわ災害ボランティアネットワーク

「8月末集中豪雨」の時に中心となってボランティア活動をしていただきました。愛知県や名古屋市主催の災害ボランティアコーディネーター養成講座を受講した方を中心に、平成18年に発足されました。

<活動紹介>

災害時に、災害ボランティアセンターにおいてコーディネート業務（支援ニーズとボランティアの調整）を行うことを主とするボランティアグループです。平常時には、防災・減災のための啓発活動を行い、区民に災害に対する意識を高めるよう呼びかけています。



啓発活動として行っている「ストローハウスづくり」



筋交いが少なかったりバランスが悪いと地震のとき崩れやすいということを、実際にストローで家をつくって揺らしてみても実感するための体験です。

代表下田さんから一言

毎月第2日曜日に中川図書館2階会議室で定例会を開き、みんなで災害に関する事柄を勉強して、地域住民に対し啓発活動を行っています。先日のゲリラ豪雨では現場で活動し、即座に判断することや、人の心を開く難しさを学びました。また、自然災害に対処するには、普段から顔の見えるおつきあいをし、「人の輪」をつくっておくことが大切だと実感しました。

現在メンバーは10名余りしかいないので、新メンバーを大募集しています！災害ボランティアに興味のある方はぜひ当グループに入りたいです。よろしくお願いします！



【問合せ先】

中川区社会福祉協議会 TEL 352-8257



たかささん

今回の大雨が「ゲリラ豪雨」と呼ばれるように、災害はいつ来るかわかりません。また、災害ボランティアは、災害があつてからすぐに活動に入れるわけではありません。災害直後に最も頼りになるのは近隣の方々です。自分自身が災害に備えて準備しておくとともに、いざという時に隣近所で助け合える体制（ネットワーク）をつくっておくことができるとよいですね。

第2次 地域福祉活動計画ニュース 第3弾

～分科会～

高齢者・障がい者・児童の各ワーキンググループの共通テーマ「災害」と「福祉教育」に関して、それぞれの関係機関から講師をお招きし、分科会を開催しました。ここで得た知識や情報を、計画づくりに活用していきます。

第1回 災害分科会 ～豊治学区での取り組み（共助）～

豊治学区の区政協力委員長の海田氏を講師としてお招きし、区政協力委員の災害時の位置づけや組織体制、豊治学区の災害対策について、「8月末集中豪雨」時の活動を交えながら、ご講義いただきました。“自分のことは自分で守る”という「自助」が一番ですが、次に頼りになるのは近隣住民の助け合い「共助」です。このために、戸田学区との合同での防災訓練など、地域での助け合いづくりに平常時から取り組んでいるというお話をいただきました。また、災害時に要援護者を支援する人を今後決めていきたいという抱負を語られました。

いろいろ難しい部分もあるけれど、先進的な取り組みを参考に、計画の中で少しずつ進めていきたいわ。



第1回 福祉教育分科会 ～学校での取り組み～

福祉体験学習を積極的に取り入れている、豊治小学校の西尾先生と中川商業高校の江上先生をお招きし、福祉体験学習を学校教育の中に取り入れる意義や子どもたちへの想いなどについてご講義いただきました。

単発になりがちな福祉体験学習を、手話（3年生）・点字（4年生）・車イス（5年生）と3年間継続して指導できるよう工夫してきたお話や、高校3年次の課題研究のひとつに位置づけ、生徒と一緒にカリキュラムを考えながら、年間を通じて視覚障がい者のガイドヘルプや点字、手話体験を進めているお話を伺いました。

対象となる子どもの年齢は違うけど、「思いやりの心を育む」とか「障がいを身近なものと感じ、ふれあうことで理解して、お互いが同じように生活できる」といった両先生の共通の想いを感じることができました。



学校だけではなく、大人も含め地域全体で取り組めるといいなと思いました。



中川区社会福祉協議会では、このような事業に取り組んでいます！

福祉体験学習

障がい者の方やボランティアのみなさんが講師となり、高齢者疑似体験や車いす体験、点字体験、手話体験などを行います。人とのふれあいの大切さを学び、思いやりの心をはぐくむ中で、自分たちが地域で出来る活動を探すきっかけ作りとして取り組んでいます。

（20年度10月末現在実績 小学校8校、高校1校）



小学校での車いす体験

地域包括支援センターからのお知らせ



いつまでも自分らしい生活を・・・

介護予防とは・・・

介護を必要とする状態になることを未然に防ぐこと
 介護が必要でも、できるだけ身体の機能を維持・改善すること
 を目指す取り組みです

いつまでも自分らしさを保つためには、老化のサインを
 早期に発見し、対応していくことが大切です。



介護予防は運動機能の維持・向上から

筋力の低下は生活機能の低下につながります。運動を習慣にすると、病気や生活不活発病を防ぐことはもちろん自分らしい生活を送ることで、新たな活動が広がります。

介護予防教室などに参加するために

いきいき介護予防検診（生活機能評価）を受ける



「生活機能低下がある」と診断された方



地域包括支援センターでからだの状況にあった介護予防教室などの紹介

「介護予防ケアプラン」を作成します



介護予防事業に参加

得トク運動教室、お口の機能向上事業、食生活改善事業、認知症・うつ
 予防教室などの教室に参加していつまでもいきいきとすごしましょう。



市が委託した医療機関で受診
 （65歳以上で要支援・要介護認定）
 を受けていない方が対象です。



介護予防に関する相談などは・・・

※お住まいの学区により、担当する地域包括支援センターが決まっています。

広見、露橋、八熊、八幡、愛知、常磐、篠原、昭和橋、玉川、中島、西中島学区にお住まいの方・・・

東部地域包括支援センター 電話354-8343

野田、荒子、正色、五反田、戸田、春田、豊治、長須賀、西前田、万場、千音寺、赤星、明正学区にお住まいの方・・・

西部地域包括支援センター 電話352-8258

第60回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール

区内小中学校のみなさんから、書道1,182点、ポスター191点のご応募をいただきました。どの作品も力作ぞろいでしたが、中川区共同募金委員会と愛知県共同募金会の審査によって以下の方々が選出されました。受賞者のみなさんおめでとうございます。

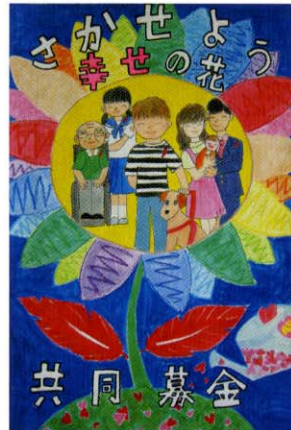
愛知県共同募金会入賞者

書道の部 特賞 中日新聞社会事業団賞



助光中学校1年 立松 央成さん

ポスターの部 銀賞



豊治小学校6年 野山 愛友さん

中川区共同募金委員会優秀者（佳作）

(書道の部)



長須賀小学校3年 長谷川 千花さん



中島小学校4年 鈴 友伽さん



正色小学校5年 犬飼 英里さん



野田小学校6年 西脇 彩香さん



高杉中学校1年 松本 優希さん



長良中学校2年 富田 智子さん



一柳中学校2年 渡辺 美穂さん



長良中学校3年 早瀬 日佳里さん



高杉中学校3年 飯波 真菜さん

(ポスター)



荒子小学校1年 谷口 文星さん



昭和橋小学校2年 奥村 麻友さん



中島小学校3年 中村 菜穂子さん



中島小学校4年 西川 和さん



万場小学校5年 溝口 華加さん



荒子小学校6年 奥村 崇之さん



西養護学校中学部1年 箕浦 一輝さん



山王中学校2年 沢村 早紀さん



ほとり中学校3年 野間 瑞季さん

歳末たすけあい募金運動にご協力をお願いします。

～みんなてささえあうあったかい地域づくり～

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らせるよう、募金運動を実施します。

中川区では、ひとり暮らし高齢者等寝具洗濯乾燥サービスや住民参加型福祉活動支援事業（高齢者ふれあい・いきいきサロンや子育てサークルなどへの支援）に活用させていただきます。募金は、中川区共同募金委員会（中川区社会福祉協議会内）で受け付けています。みなさまのあたたかいご協力をお願いいたします。



70歳以上の方へ

高齢者寝具洗濯乾燥サービスのご案内

70歳以上の方に清潔で快適な生活を送っていただくため、お布団の洗濯乾燥サービス事業を実施します。

朝出して夕方にはふかふか



- ご利用できる方 中川区内在住で次の①②の世帯かつ前年の所得が一人あたり200万円以下の方で、日ごろ布団が干せない方
- ①70歳以上のひとり暮らし高齢者世帯
 - ②70歳以上の方のみの世帯
 - ※ 70歳以上 = 昭和13年12月31日以前にお生まれになった方
- 実施日** 平成21年1月下旬～3月
- 対象寝具** 原則として、申込者が日ごろ使用している敷布団、掛け布団、毛布各1枚ずつで1人あたり3点以内
- 利用料** 無料（ただし、羽毛・羽根布団など特殊な布団や対象寝具3点の組み合わせを変更しての申し込みの場合は利用者負担あり）
- 定員** 1,000人（先着順）
- 申込方法** 11月11日(火)から12月19日(金)までに電話・FAX・郵送等で、直接、中川区社会福祉協議会へお申し込みください。

受講者募集!!

視覚障がい者支援ボランティア養成講座～見えないうってどういうこと?～



点字やガイドヘルプ（外出介助）体験を通して、視覚障がい者について理解を深め、支援するボランティアを養成します。これからボランティアを始めたい方、大歓迎です。



- 対象** 区内在住で、講座終了後にボランティアとして活動できる方、15名
- 受講料** 無料（交通費・テキスト代等は自己負担）
- 申込** 12月11日（木）から
中川区社会福祉協議会へ、
電話またはFAXにて。先着順

	日にち	時間・場所	内容
第1回	1月22日（木）		見えないうってどういうこと？ 視覚障がい者の方にお話を聞き、アイマスクをして見えない世界を体験します。
第2回	1月29日（木）	10:00～12:00	点字① 点訳のルールを学びます。
第3回	2月5日（木）	中川区社会福祉協議会4階会議室	点字② 点字で文章を書いてみます。
第4回	2月12日（木）		ガイドヘルプ 視覚障がい者のガイドの方法を学びます。

寄附のお礼

寄附は中川区の福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

(株)ヤマナカ新中島フランチ館お客様各位
名古屋ヤクルト販売(株)様
木村 ひとし 様
ビクター歌謡フェスタ(愛のチャリティー) 様



お祝いごとや香典返しにかえての寄附を受け付けております。香典返しについては、あいさつ状をご用意いたします。

編集・発行

社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

〒454-0911 名古屋市中川区高畑四丁目143 アネックス高畑2F
(高畑交差点北西角・地下鉄高畑②番出口直進)

TEL (052) 352-8257 FAX (052) 352-3825

メールアドレス nakagawaVC@nagoya-shakyo.or.jp

ホームページ http://www.nakagawashakyo.jp

＝この広報誌は、共同募金配分金と賛助会費を財源に作成しました＝

※それぞれの事業へのお申し込み時にいただいた個人情報は、その事業実施以外の目的に利用または第三者へ提供することはいたしません。
※Welなかがわ(年4回)の定期購読や音訳版・点訳版をご希望の方は本会までご連絡ください。

「Welなかがわ」は、再生紙を使用しています。